

松本秀一氏に厚生労働大臣表彰が授与

－「平成30年度卓越した技能者」(現代の名工)－

11月12日、「平成30年度卓越した技能者」の表彰式がリーガロイヤルホテル東京において開催され、当工業会会員企業である三菱重工業(株)の松本秀一(まつもと しゅういち)氏に、“電子機器部品製造工”部門で厚生労働大臣表彰が授与された。松本氏の功績に敬意を表するとともに、名誉ある表彰をここにご紹介し、工業会として喜びを分かち合いたいと思う。

本件は、厚生労働省の技能者表彰規定にもとづくものである。卓越した技能者を表彰することにより、広く社会一般に技能尊重の気風を浸透させ、もって技能者の地位および技能水準の向上を図るとともに、青少年がその適正に応じ、誇りと希望を持って技能労働者となり、その職業に精進する気運を高めることを目的としている。毎年、我が国最高水準の技能を有し、他の技能者の模範となるにふさわしい卓越した技能者が表彰されている。

都道府県知事、全国的な事業主団体等、または一般社団法人もしくは一般財団法人などの推薦を受けた候補者の中から、厚生労働大臣が選定・授与しており、今回は、全国で150名の「現代の名工」が表彰を受けた。

当工業会からは、平成11年以降18名表彰されており、三菱重工業(株)としては平成19年～24年、28年、29年に続く9人目である。

松本氏は平成3年 三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所に入社し、一貫して電装作業に従事している。宇宙・航空機の電装品からワイヤーハーネスの製造、機体艤装の作業に精通する多能工として活躍し、長年携わっているロケットの電装品製造において

は、「ロケットの電装イコール松本」と呼ばれる第一人者である。なお、45歳となった現在は、防衛・宇宙セグメント 航空機・飛昇体事業部 航空機製造部に所属し、作業長の職にある。

1. 卓越した技能の概要

(1) 高精度の機器組立て

ロケット打上げ時の過酷な振動等による内部機器の断線につながりうる応力を生じさせないためには、僅かな空間に収められた100個以上の部品と数百本の電線に接触防止の間隔を設け、応力除去(ストレスフリー)を持たせた接続、束線を行い、ミリ単位以下の精度で組立てることが求められる。

柔軟な発想と卓越した技能をもって、H-II Aロケット開発段階から部品の配置と組立て方法の試行錯誤を重ね、打上げまでの限られた時間内に応力除去の問題を解決し、開発完了に寄与した。以後、H-II Aの逐次改良、H-II Bの開発時にもこの経験を活かし、作業手順の確立と製造方法の改善に取り組み、生産効率の向上に大いに貢献した。

(2) 高品質のはんだ付け

1機に1,000か所以上あるロケット電装品のはんだ付けは、全てJAXA等が定める工程標準による高い品質が求められる。認定技能作業員として日々の研究研鑽を重ね、品質向上に努めている。

ワイヤーハーネスの製造においても高い技能とノウハウを有しており、常に作業性とコストの改善に努めている。

2. 卓越した功績・貢献の一例

(1) ロケット用電装品

ロケットの電装品の開発において、試作段階から参画し、品質、コスト、スケジュールなどにおける技術的課題を克服し、連続打上げ成功に寄与するとともに、以後の宇宙機器製造の礎を築いた。松本氏の製造した機器は作動不良なしの実績を積み重ねている。

(2) 宇宙・航空機用機器のはんだ付け

高い接合強度を持つはんだ付け技能を有するとともに、工法の改善を実施し、宇宙開発、飛行安全に大きく貢献している。

(3) ワイヤーハーネス

試作機等のワイヤーハーネスでは、想定外の電磁障害を生起させない安全第一の製造に取り組み、経験とノウハウにより、信頼性の高い製品を作り上げている。

また、宇宙・航空機のワイヤーハーネスの製造技術を標準化する作業手順書を作成する

とともに、作業環境の改善などに取り組み、少量生産体制でも品質の確保とコスト削減に貢献している。

併せて、電装作業の機械化に向けた活動を展開するとともに、品質向上や生産効率を高める改善活動においても中心的な役割を果たしている。

3. 後進の指導育成

(1) 卓越した技能による後進への指導育成

電子機器組立てに関する卓越した技能、知識と経験を活かし、後進の指導育成、及び技能伝承に取り組み、次世代の人材育成を視野に入れて活動している。

(2) 若手技能者への技能伝承

若手技能者（技能訓練性）に対する電子機器組立ての実技指導を通じて将来の継承者を育成している。



卓越技能章と表彰状を前にした松本氏



松本氏 作業及び指導の様子

(3) はんだ付け技能の伝承

社内名古屋地区事業所におけるはんだ付け認定技能の講師として、技能伝承を通じてはんだ付け技能の向上を図っている。

(4) 電子機器組立て技能士の取得推進

電子機器組立て技能士の取得を推進するための指導会を催し、4年間で特級3名、1級8名、2級13名を合格させる成果をあげている。

(5) 社内技能競技会の選手育成

社内技能競技会の出場選手に対して、実技の指導並びにものづくり精神の伝承を行い、優秀な成績に導いている。

(6) ものづくりマイスターとしての後継者育成

松本氏は、平成29年度にもものづくりマイスターの認定を受けており、技能伝承、及び後継者育成に意欲を持って取り組んでいる。

松本氏の素晴らしい功績をたたえとともに、今後のますますのご活躍と、これまでに培ってきた卓越した技能と豊富な経験・実績を多くの後進に伝授されることを期待する。

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 広報部長 高木 伸吾〕